

株式の状況 (平成27年3月31日現在)

発行可能株式総数 320,000,000 株
 発行済株式の総数 74,919,379 株
 株主数 9,602 名

大株主

株主名	当社への出資状況	
	持株数 千株	出資比率 %
みずほ信託銀行株式会社 退職給付信託 東京精密口 再信託受託者 資産管理サービス信託銀行株式会社	4,592	6.12
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,812	5.08
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,579	3.44
第一生命保険株式会社	2,100	2.80
DMG森精機株式会社	2,000	2.66
JP MORGAN CHASE BANK 385632	1,528	2.04
株式会社三井住友銀行	1,516	2.02
THE BANK OF NEW YORK - JASDECTREATY ACCOUNT	1,508	2.01
株式会社北越銀行	1,484	1.98
ツガミ取引先持株会	1,268	1.69

- (注) 1. 株数は単位未満を切り捨て、出資比率は小数点第3位以下を切り捨てて表示しております。
 2. みずほ信託銀行退職給付信託東京精密口再信託受託者資産管理サービス信託の持株数4,592千株は、㈱東京精密が同行に委託した退職給付信託の信託財産であり、その議決権行使の指図権は㈱東京精密が留保しております。
 3. 当社は自己株式を5,285千株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。

会社の概要 (平成27年3月31日現在)

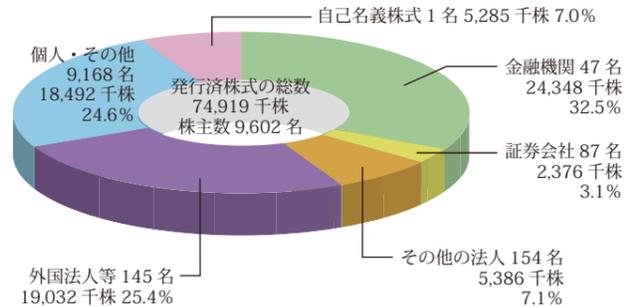
商号 株式会社ツガミ
 設立 昭和12年3月
 本店所在地 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
 資本金 12,345百万円
 従業員数 430名
 役員状況 (平成27年6月18日現在)
 代表取締役 CEO 西嶋 尚生
 代表取締役 COO 本間 利雄
 代表取締役 COO 新嶋 敏治
 取締役 邊 宰賢
 " 唐 東雷
 社外取締役 中川 威雄
 " 西山 茂
 " 島田 邦雄
 常勤監査役 早崎 敬二
 監査役 山田 健司
 社外監査役 内ヶ崎 守邦
 " 寺本 秀雄
 " 吉田 均

本社・工場 本社 東京都中央区日本橋富沢町12番20号
 長岡工場 新潟県長岡市東蔵王1丁目1番1号
 高見工場 新潟県長岡市東高見2丁目1番2
 新潟工場 新潟県新潟市東区桃山町2丁目132番地

営業拠点 東日本営業部・海外統括部 (東京)
 中部営業部 (名古屋) 西日本営業部 (大阪)

ツガミグループ 株式会社ツガミマシナリー
 株式会社ツガミ総合サービス
 津上精密机床 (浙江) 有限公司 [中国]
 津上精密机床 (中国) 有限公司 [英領ケイマン諸島]
 津上精密机床 (香港) 有限公司 [香港]
 浙江品川精密機械有限公司 [中国]
 TSUGAMI (THAI) CO., LTD. [タイ]
 TSUGAMI EUROPE GmbH [ドイツ]
 TSUGAMI KOREA CO., LTD. [韓国]
 TSUGAMI PRECISION ENGINEERING INDIA PVT. LTD. [インド]
 TSUGAMI TECH SOLUTIONS INDIA PVT. LTD. [インド]
 TSUGAMI Universal Pte. Ltd. [シンガポール]

所有者別株式分布状況



(株数は単位未満を四捨五入で、出資比率は小数点第2位以下を切り捨てて表示)

株式メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日
 定時株主総会 毎年6月
 剰余金の配当の基準 期末配当の基準日は、毎年3月31日
 なお、中間配当を実施するときの中間配当の基準日は、毎年9月30日
 株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
 東京都千代田区丸の内一丁目4番5号
 同事務取扱場所 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 同連絡先 郵便番号 137-8081
 東京都江東区東砂七丁目10番11号
 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部
 電話 0120-232-7111(通話料無料)
 公告の方法 電子公告により、当社ホームページ(<http://www.tsugami.co.jp/>)に掲載いたします。
 なお、やむを得ない事由により、電子公告によることのできない場合は、官報に掲載して行います。
 上場金融商品取引所 東京証券取引所

お知らせ

- 株主さまのご住所・お名前の変更、単元未満株式の買取請求、配当金振込指定などを行う場合の受付窓口は、原則として口座を開設されている証券会社等になります。郵送物等の発送と返戻、支払期間経過後の配当金に関するご照会および株式事務に関する一般的なお問合せは、三菱UFJ信託銀行株式会社で承ります。
- 証券会社等の口座ではなく特別口座に記録された株式に関する各種手続きは、三菱UFJ信託銀行株式会社で受付いたします。
- 特別口座に記録された株式を市場で売却する場合は、特別口座から直接売却することができませんので、証券会社等の口座に振替える必要がございます。

株主の皆様へ

第112期報告書 平成26年4月1日～平成27年3月31日



ごあいさつ

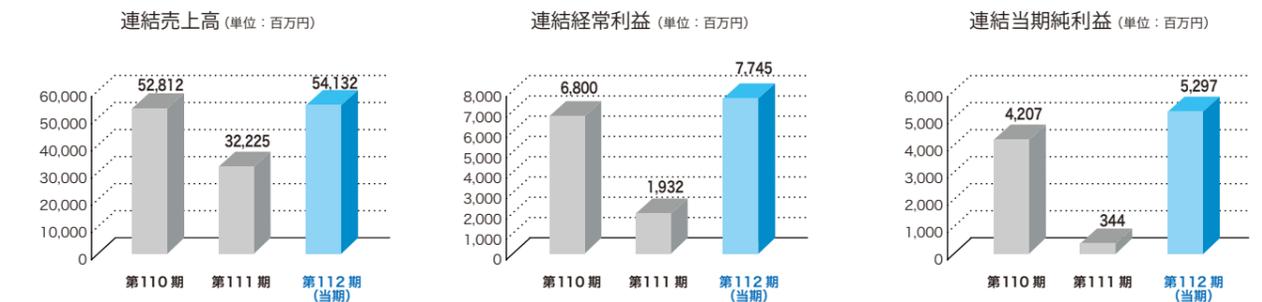
株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。さて、当社第112期の営業の概要等につきましてご報告申し上げます。当期におけるわが国経済は、一部に消費税率引き上げの影響があったものの、全体的には緩やかな回復基調が続いてきました。工作機械業界におきましては、国内市場は前期からの緩やかな回復基調が続き、米国市場、欧州市場とも堅調に推移し、中国市場におきましてもスマートフォン関係のEMS生産が牽引し総じて緩やかに回復してきました。このような状況の下、当社グループは、IT関連向け製品の出荷増に加え自動車向け新製品も寄与し、前期比増収増益となりました。売上高は、前期比68.0%増の54,132百万円となりました。国内売上は前期比32.0%増の9,712百万円、海外売上は同78.6%増の44,419百万円となり、海外比率は前期の77.2%から82.1%となりました。

また、機種別の売上では、主力の自動旋盤は前期比71.0%増の44,150百万円、研削盤は同1.1%増の3,222百万円、マシニングセンタは同1.9%増の1,536百万円、転造盤・専用機は同257.1%増の4,914百万円となりました。損益につきましては、営業利益は前期比512.4%増の7,253百万円、経常利益は同300.8%増の7,745百万円、当期純利益は同1,439.0%増の5,297百万円となりました。平成27年3月期の期末配当金につきましては、堅調な業績などを検討いたしました結果、取締役会決議により当初予想しておりました1株当たり6円から2円増配し8円とさせていただきます。そのため、すでに実施済みの中間配当金1株当たり6円とあわせて、年間配当金は1株当たり14円となりました。

なお、平成28年3月期の剰余金の配当につきましては、1株当たり中間配当金8円、期末配当金8円の年間16円とさせていただきます。引き続き売上の拡大と生産の効率化・原価低減を図るとともに、お客様のニーズに合致した新製品の提供とサービスの充実に努め、常に顧客満足度の向上を目指し、お客様に信頼される経営に全力で取り組んでまいります。株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成27年6月
 代表取締役 CEO 西嶋 尚生

連結業績の推移



営業成績および財産の状況の推移

区分	第110期		第111期		第112期	
	連結	個別	連結	個別	連結	個別
売上高(百万円)	52,812	35,852	32,225	29,491	54,132	34,992
経常利益(百万円)	6,800	6,914	1,932	1,330	7,745	2,522
当期純利益(百万円)	4,207	5,125	344	△70	5,297	1,698
1株当たり当期純利益(円)	57.16	69.64	4.72	△0.97	74.37	23.85
総資産(百万円)	45,919	42,090	52,250	41,800	56,829	39,050
純資産(百万円)	31,998	30,837	31,587	29,692	37,279	30,494
1株当たり純資産(円)	427.86	412.08	428.18	401.99	522.94	427.60

(注) 単位未満を切り捨てて表示しております。

連結財務諸表

◆連結貸借対照表

(単位：百万円)

科目	当期 (平成27年3月31日現在)	前期 (平成26年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	36,861	35,953
現金及び預金	5,175	6,227
受取手形及び売掛金	7,054	6,686
たな卸資産	22,700	20,958
その他	1,931	2,080
固定資産	19,967	16,290
有形固定資産	11,451	10,420
建物・機械装置・運搬具等	10,596	9,074
土地	564	564
その他	290	781
無形固定資産	756	328
投資その他の資産	7,759	5,541
繰延資産	0	5
資産合計	56,829	52,250
負債の部		
流動負債	17,851	19,316
支払手形及び買掛金	8,276	10,630
短期借入金	6,855	6,075
未払法人税等	616	1,113
その他	2,104	1,498
固定負債	1,698	1,346
退職給付に係る負債	535	946
その他	1,162	400
負債合計	19,550	20,663
純資産の部		
株主資本	31,460	28,579
資本金	12,345	12,345
資本剰余金	5,889	5,889
利益剰余金	15,963	11,424
自己株式	△ 2,738	△ 1,079
その他の包括利益累計額	4,953	2,401
その他有価証券評価差額金	2,798	1,391
為替換算調整勘定	2,123	1,134
退職給付に係る調整累計額	32	△ 123
新株予約権	865	605
純資産合計	37,279	31,587
負債純資産合計	56,829	52,250

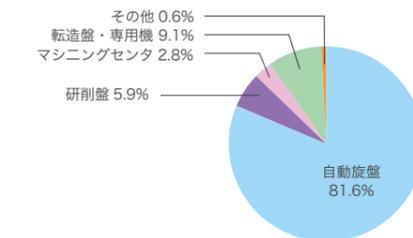
◆連結損益計算書

(単位：百万円)

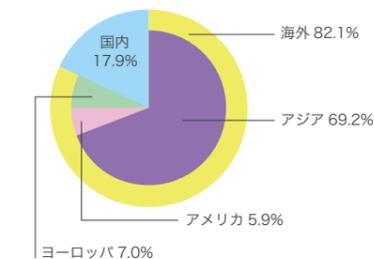
科目	当期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	前期 平成25年4月1日から 平成26年3月31日まで
売上高	54,132	32,225
売上原価	39,890	25,122
売上総利益	14,241	7,102
販売費及び一般管理費	6,988	5,918
営業利益	7,253	1,184
営業外収益	1,360	1,131
営業外費用	869	383
経常利益	7,745	1,932
特別利益	65	232
特別損失	129	320
税金等調整前当期純利益	7,681	1,845
法人税・住民税及び事業税	2,126	1,462
法人税等調整額	258	38
当期純利益	5,297	344

◆売上高構成比 (連結)

機種別売上高構成比(当期)



地域別売上高構成比(当期)



◆連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	株主資本				その他の包括利益累計額				新株予約権	株主資本等合計	
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計			
平成26年4月1日期首残高	12,345	5,889	11,424	△ 1,079	28,579	1,391	1,134	△ 123	2,401	605	31,587
会計方針の変更による累積的影響額			108		108						108
会計方針の変更を反映した当期首残高	12,345	5,889	11,533	△ 1,079	28,688	1,391	1,134	△ 123	2,401	605	31,696
連結会計年度中の変動額											
剰余金の配当			△ 866		△ 866						△ 866
当期純利益			5,297		5,297						5,297
自己株式の取得				△ 1,848	△ 1,848						△ 1,848
自己株式の処分		0		189	189						189
株主資本以外の項目の連結会計年度中の変動額(純額)						1,406	988	156	2,551	259	2,811
連結会計年度中の変動額合計	-	0	4,430	△ 1,658	2,771	1,406	988	156	2,551	259	5,583
平成27年3月31日期末残高	12,345	5,889	15,963	△ 2,738	31,460	2,798	2,123	32	4,953	865	37,279

新製品を市場に投入

◆CNC 精密自動旋盤 B0128W/B0208W

対向クシ刃の前・後刃物台の独立駆動を可能としたB0シリーズ「CNC 精密自動旋盤 B0128W/B0208W」を開発しました。

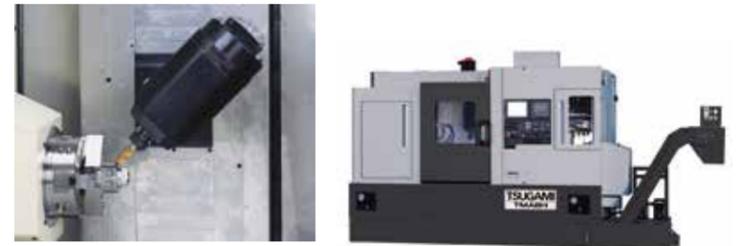
- 同時3系統制御により、独立制御の各刃物台で多彩なオーバーラップ加工が可能
- 3系統制御によるツールチェンジ時間のゼロ化
- 3つの刃物台にY軸搭載
- 背面側のY軸により付加価値の高いワークも加工
- 圧倒的なコストパフォーマンス
- ソフト方式熱変位補正により高精度加工が可能



◆ターニングセンタ TMA8H

コストパフォーマンスに優れた高性能複合加工機「ターニングセンタ TMA8H」を開発しました。

- 高速、高精度のターニングセンタとパワフルなマシニングセンタを統合させた生産型複合加工機
- Y軸制御、B軸割出標準装備の工具主軸
- 複雑形状部品の多品種少量生産に最適
- 背面主軸により6面加工を実現
- 工程集約により、オペレータ数削減、機械台数削減、リードタイム短縮が可能
- X軸スライドにリニアスケールを標準装備。高精度加工に対応



展示会に出展

取引先の開拓を積極的に進めてまいりました。

2014年10月30日から6日間、東京ビッグサイト(東京国際展示場)にてJIMTOF2014(第27回日本国際工作機械見本市)に出展しました。

国内外から大勢のユーザー、ディーラー様に来場いただき、更なる市場拡大のため活発な商談を行いました。



JIMTOF2014
(第27回日本国際工作機械見本市)